

テーマ「今こそコミュニケーションを」

日時:2023年9月3日(日曜日) 会場:ウインクあいち

幹事施設:江南厚生病院

9:20	受付
9:50	開会式
10:00	<p>特別講演(10:00~12:00)</p> <p style="text-align: right;">座長:江南厚生病院 内分泌・糖尿病内科 有吉 陽 先生</p> <p>一患者さんの治療意欲を引き出し行動変容を優しく支援する一 動機づけ面接を臨床に活用してみる</p> <p style="text-align: right;">札幌学院大学人文学部子ども発達学科 教授 北田 雅子 先生</p>
12:00	昼休憩
13:10	分科会+スキルアップセミナー
	<p>小ホール1 分科会A(13:10~14:00)</p> <p>「糖尿病イベント参加者及び入院患者の食物繊維の調査」 名鉄病院 管理栄養士 鈴木 真希子 先生</p> <p>「男性が女性用の小さいサイズの茶碗を使うことで米飯指示量は守れるのか」 糖尿病・内分泌内科クリニックTOSAKI 管理栄養士 佐藤 文織 先生</p> <p>「病棟で行うカーボカウント教育について看護師が果たした役割についての考察」 名南病院 看護師 仁科 智恵美 先生</p> <p>「残薬確認表を用いた、内服コンプライアンス改善に向けた取り組み」 江南厚生病院 看護師 松島 幸子 先生</p> <p>「低血糖を繰り返す胨性糖尿病に対し、SAP導入とアプリを使ったカーボカウントが有効だった一例」 知多厚生病院 管理栄養士 増田 明啓 先生</p> <p>小ホール2 分科会B(13:10~13:50)</p> <p>「外来糖尿病透析予防指導開始から7年~病期変化の検討~」 名南病院 管理栄養士 菱川 実奈美 先生</p> <p>「地域でのフレイル予防、運動療法指導における理学療法士介入方法の検討」 トヨタ記念病院 理学療法士 竹谷 健吾 先生</p> <p>「集学的治療でeGFRの低下が停止した2型糖尿病の1例」 名南病院 看護師 武内 かおる 先生</p> <p>「重度糖尿病患者への栄養指導継続介入によりHbA1cの改善がみられた症例報告」 江南厚生病院 管理栄養士 山田 千夏 先生</p> <p>大ホール スキルアップセミナー(13:10~14:10)</p> <p>「最近の薬物治療の適材適所」 江南厚生病院 内分泌・糖尿病内科 有吉 陽 先生</p> <p>「効果的なisCGMの使い方」 江南厚生病院 内分泌・糖尿病内科 栗本 隼樹 先生</p>
14:10	<p>基調講演::コミュニケーションを見直そう(14:10~16:00)</p> <p style="text-align: right;">総合座長:江南厚生病院 内分泌・糖尿病内科 栗本 隼樹 先生</p>
	<p>第一部 コミュニケーションがとりやすい人は、怒りがコントロールできる人(14:10~14:50)</p> <p style="text-align: right;">一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 アンガーマネジメントコンサルタント 楓 淳 先生</p> <p>第二部 肥満症治療におけるコミュニケーションの実際</p> <p>① 当院の肥満症治療における臨床心理士の関わり(14:50~15:15)</p> <p style="text-align: right;">春日井市民病院 技術局 臨床心理室 臨床心理士 渡邊 啓介 先生</p> <p>② 当院の肥満外科治療とスティグマ排除を目指すチーム医療の実践(15:15~16:00)</p> <p style="text-align: right;">春日井市民病院 糖尿病・内分泌内科 部長 渡邊 梨紗子 先生</p>
16:00	閉会式